

菅野 仁 著「友だち幻想」から学ぶ

人ととの関わり方

中村愛莉沙(2-6)
鈴木 裕士(2-1)

図書館だより

九里学園会員印刷
委川島(株) TEL 21-5511(代)

みなさん、友達関係で悩んだことはありますか。『友だち幻想』という本には、友達関係の悩みに対するアドバイスが書かれています。

今回は、その中の三つを紹介します。

一つ目は、コミュニケーションを阻害する言葉についてです。みんなは「うざい」「ていうか」「カワイイ」「KY」といった言葉を使つたことがありますか。私たちも様々な言葉を使って身の回りの人たちと会話をしますが、充実した人間関係を築いていくためには多様な表現が必要であり、多くの言葉を身につければならないと思います。「うざい」といった言葉を使うことで、家族や身近な友達と気まずい感覚に陥つたことはないでしょうか。

五感を通して感じる味わいを言葉で表現することで、情緒や感受性が高まっています。しかし、前述の言葉のようなコミュニケーションを阻害する言葉を使うことで、とても浅い表現になってしまいます。コミュニケーションに関する不安は、こうした空疎な言葉使いから生まれるのかもしれません。このような不安感から抜け出すためには、少

みなさんは、友達関係で悩んだことはありますか。『友だち幻想』という本には、友達関係の悩みに対するアドバイスが書かれています。

今日は、その中の三つを紹介します。

一つ目は、コミュニケーションを阻害する言葉についてです。みんなは「うざい」「ていうか」「カワイイ」「KY」といった言葉を使つたことがありますか。私たちも様々な言葉を使って身の回りの人たちと会話をしますが、充実した人間関係を築いていくためには多様な表現が必要であり、多くの言葉を身につければならないと思います。「うざい」といった言葉を使うことで、家族や身近な友達と気まずい感覚に陥つたことはないでしょうか。

五感を通して感じる味わいを言葉で表現することで、情緒や感受性が高まっています。しかし、前述の言葉のようなコミュニケーションを阻害する言葉を使うことで、とても浅い表現になってしまいます。コミュニケーションに関する不安は、こうした空疎な言葉使いから生まれるのかもしれません。このような不安感から抜け出すためには、少

みなさんは、友達関係で悩んだことはありますか。『友だち幻想』という本には、友達関係の悩みに対するアドバイスが書かれています。

今日は、その中の三つを紹介します。

一つ目は、コミュニケーションを阻害する言葉についてです。みんなは「うざい」「ていうか」「カワイイ」「KY」といった言葉を使つたことがありますか。私たちも様々な言葉を使って身の回りの人たちと会話をしますが、充実した人間関係を築いていくためには多様な表現が必要であり、多くの言葉を身につければならないと思います。「うざい」といった言葉を使うことで、家族や身近な友達と気まずい感覚に陥つたことはないでしょうか。

五感を通して感じる味わいを言葉で表現することで、情緒や感受性が高まっています。しかし、前述の言葉のようなコミュニケーションを阻害する言葉を使うことで、とても浅い表現になってしまいます。コミュニケーションに関する不安は、こうした空疎な言葉使いから生まれるのかもしれません。このような不安感から抜け出すためには、少

人付き合いに悩んでしまったら

「十代のうちに考えておくこと」

香山 リカ 著

(岩波ジュニア新書)

著者が十代の頃に考えたり、つまづいたこと、将来のこと、親や友達との人付き合い、世の中のこと、自分自身を大切にすることなど、幅広く書かれています。

三つ目は、合わない人とは無理にくつつかず距離を取ることです。すべての人と仲良くできるということは、あらゆることです。馬が合わないときには、このアドバイスを思い出してみて下さい。他にも、人間関係についての本がいくつもありますので読んでみて下さい。

二つ目は、「私のすべてを受け入れてくれる人が現れるはず」という自己中心的な考え方、願望を持つことです。すべての人が自分と趣味が合わないことは当たり前のことです。いくら身近な人だけでも自分のことをすべて理解し受け入れてくれる人はこの世にはい

ないのです。例えば、あなたが社会に出ているいろんな人と何かに取り組もうとするときに、自分とは違う価値観の人たちと当然のように協力していくかなければなりません。自分と社会との関係が少しずつ見えてきます。では、どうやって言葉の種類を増やしていくか。それには「読書」が一番の早道です。好きな小説、詩、歴史の本、何でもいいです。本当に没頭していく、文字を通して書き手や登場人物の声を聞き、本と会話し、登場人物と自分を照らし合わせてみると、新しい自分に出会うことでもあります。実際に人と関わって学んでいくのもいいのですが、本を通して色々な物語の人間関係や人付き合いの手がかりを得てみてはいかがですか?

三つ目は、合わない人とは無理にくつつかず距離を取ることです。すべての人と仲良くできるということは、あらゆることです。馬が合わないときには、このアドバイスを思い出してみて下さい。他にも、人間関係についての本がいくつもありますので読んでみて下さい。

二つ目は、「私のすべてを受け入れてくれる人が現れるはず」という自己中心的な考え方、願望を持つことです。すべての人が自分と趣味が合わないことは当たり前のことです。いくら身近な人だけでも自分のことをすべて理解し受け入れてくれる人はこの世にはい

ないのです。例えば、あなたが社会に出ているいろんな人と何かに取り組もうとするときに、自分とは違う価値観の人たちと当然のように協力していくか

なければなりません。自分と社会との関係が少しずつ見えてきます。では、どうやって言葉の種類を増やしていくか。それには「読書」が一番の早道です。好きな小説、詩、歴史の本、何でもいいです。本当に没頭していく、文字を通して書き手や登場人物の声を聞き、本と会話し、登場人物と自分を照らし合わせてみると、新しい自分に出会うことでもあります。実際に人と関わって学んでいくのもいいのですが、本を通して色々な物語の人間関係や人付き合いの手がかりを得てみてはいかがですか?

三つ目は、合わない人とは無理にくつつかず距離を取ることです。すべての人と仲良くできるということは、あらゆることです。馬が合わないときには、このアドバイスを思い出してみて下さい。他にも、人間関係についての本がいくつもありますので読んでみて下さい。

「十四歳の君へ」 池田 駿著 (毎日新聞社)

人間関係や勉学など身近な問題から、お金について、現代で使われている言葉の扱い方、宗教、果ては生き、人生について分かりやすく書かれています。今の私た

ちが読みたい本です。

百人一首クラスマッチ

平成25年1月9日・10日

念願の優勝

三年四組 大場 珠里

私たち三年生は百人一首クラスマッチで優勝しました。優勝できたのはメンバー一人一人が何回も練習して努力をしたからです。二年生の頃一年プログレスに負け、三位といふ悔しい結果で終わつたのを覚えています。今年で最後だからこそ私達は優勝しか見えていませんでした。今年のメンバーは二年生の頃とほとんど変わらず、新メンバーが三人増えただけです。今年は百首覚える気持ちで二ヶ月前から練習しました。そのおかげで六人中三人が百首覚えることができました。また一人一人取り札を決め、それはどんなことがあっても絶対取ると決めていました。私達はとてもよい状態で本番を迎えることができました。

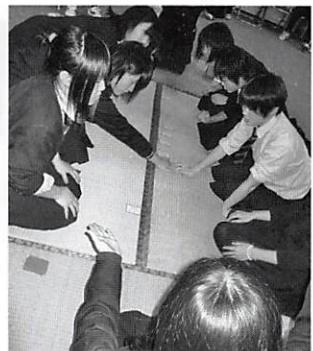
本番当日、私達はとても緊張していました。一回戦、二回戦と順調に進んでいき、決勝では昨年負けたプログレスとの対決です。取つたり、取られたりで最後まで結果がわかりませんでした。しかし、徐々に私達の札がなくなつていき、最後の一枚、私と相手が同時に取りましたが、私の方が早かつたという審判判断となり、見事優勝することができました。私達は叫びたいほどの喜びを感じました。優勝することができたのは一生懸命一緒に練習した選手みんなのおかげです。本当に感謝しています。最高の思い出になりました!!



2年4組 持ち前の対抗心と闘争心で!!

2年4組 横山 貴穂

結果	3年4組	3年6組	2年4組	2年6組	1年4組	1年6組
優勝	優勝	準優勝	第3位	第4位	優勝	準優勝



「百人一首のメンバー決めといたから」冬休みが始まる前日に急に幸英先生に言われ、集められた六人。去年選手になつた人もいますが、半分が初心者でした。終業式が終わるとすぐに図書室に集められ、ルール説明を受け、作戦会議をしました。

「お前ら分担してカードを全部覚えて来い。優勝するぞ、優勝」たつた二週間で優勝を目指すという無理難題を押し付けられ、みんな唖然としてしまいました。しかし、持ち前の対抗心と闘争心で練習に臨みました。卒業生を招いての冬休みの練習、授業の合間の百人一首暗記。できることをとことんやり、挑んだクラスマッチ当日。順調に勝ち上がり、準決勝に進出しました。二週間前はルールも歌も全然知らなかつたのに気づいたら準決勝の試合をしている。感動と自分達への応援が混ざつた不思議な気持ちでした。準決勝では前回優勝の二年六組に風格で押され、負けてしまいました。

しかし、優勝は逃しても、せめて表彰台には登りたい。これまで頑張つたんだから賞がほしい。気を引き締めて試合に望みました。一年六組の力は同じくらいだったため残り三枚になつても決着がつきませんでしたが、無事勝つことできました。大接戦の中の勝利だったのに「どうして幸英先生は見回りに行つていたのか」残念でなりません。二年四組は勝負には大変強いて、クラスマッチ準優勝、体育祭優勝、そして百人一首三位という好成績で今年度を無事締めくくれました。

米商のかかるた部の方の読み方も勉強になり、百人一首クラスマッチで活かすこともでき、良かったと思います。他の学校との交流が持てる、とても良い機会でした。自分にプラスになることばかりだったので、また参加したいと思いました。

三校合同 百人一首かるた会

一年六組 吉水 舞

十二月に九里・米工・米商の三校で百人一首かるた会をしました。米商を会場にして行われましたが、初めて行く場所だつたため、始まる前からとてもドキドキしていました。

試合は、三校合同でチームに分かれて行われ、私は米工の方とチームを組むことになりました。初めのうちは、お互いに緊張してなかなか打ち解けることができませんでした。試合の相手は先輩ばかりで、とても団結力が高まり、仲良くなることができました。試合の相手は先輩ばかりで、とても団結力が高まり、仲良くなることができます。

試合は、三校合同でチームに分かれて行われ、私は米工の方とチームを組むことになりました。初めのうちは、お互いに緊張してなかなか打ち解けることができませんでした。試合の相手は先輩ばかりで、とても団結力が高まり、仲良くなることができます。

本喰い虫の明弁

幼い頃は絵本を読むことが好きでよく読んでいました。さらに本を読むようになつたのは中学生の頃からでした。読書家の母は知識が豊富で、そんな母に刺激され、絵本以外の本も読むようになりました。

高校一年生のときは小説を多く読んでいましたが、学年が上がるにつれ自分の学びたい分野の本や評論を読むことが多くなりました。その分野についての知識を吸収していくことは、小論文試験でも大いに活用することができました。また、自分の分野だけではなく他の分野の本を読むことも大切だと思いました。物事を多面的に見ることができるようにになっていき、また新聞を読む中で様々な分野と関連づけて考えることができるようになります。つまり、本は私たちに多くの知識をたらし、私たちを良い方向に導いてくれるものです。あなたも本を読んでみませんか?



自分の進みたい分野の本を読む。
三年七組 佐藤 愛海

あなたは本を読むことが好きですか? きっと「好きではない」と答える人のほうが多いと思います。ひとくくりに「本」といつても、その種類は多岐に渡り、評論のような難しいものから絵本のようなやさしいものまで様々あります。表紙が気に入った、そんな単純な理由でもいいから本を読むことが好きではない人には手にとつてほしいと思います。

私は、母の影響で幼い頃から本を読むことが好きでした。

幼い頃は絵本を読むことが好きでよく読んでいました。さらには中学生の頃からでした。読書家の母は知識が豊富で、そんな母に刺激され、絵本以外の本も読むようになりました。

高校一年生のときは小説を多く読んでいましたが、学年が上がるにつれ自分の学びたい分野の本や評論を読むことが多くなりました。その分野についての知識を吸収していくことは、小論文試験でも大いに活用することができました。また、自分の分野だけではなく他の分野の本を読むことも大切だと思いました。物事を多面的に見ることができるようにになっていき、また新聞を読む中で様々な分野と関連づけて考えることができるようになります。つまり、本は私たちに多くの知識をたらし、私たちを良い方向に導いてくれるものです。あなたも本を読んでみませんか?

図書館貸出

ベスト10

(H24.4.1~
H25.1.31)

一位 三年七組 佐藤 愛海	頌	50 冊
二位 三年二組 青木 吉田	吏沙	50 冊
三位 二年三組 鈴木 吏沙	未翔	45 冊
四位 三年五組 中村愛莉沙	鶴木 美月	38 冊
五位 二年六組 立花 鴻	鈴木 美月	37 冊
六位 三年四組 山田奈々恵	鴻	35 冊
七位 二年一組 重松 清著	立花	34 冊
八位 二年五組 市川 安男	鴻	30 冊
九位 二年一組 高橋さおり	鴻	27 冊
十位 二年一組 夷地 祐介	鴻	27 冊

私の好きな人

3年7組
菅井 大地

重松 清著「とんび」の
市川 安男

私は重松清の「とんび」の登場人物である「市川安男」を紹介します。「とんび」は慣用句「とんびが鷹を産む」のとんびと鷹を、不器用な父ヤスと優秀な息子アキラに見立て、二人が苦労しながらも周りの人に支えられて成長していく日々を描いた物語です。特に注目したのはアキラが高校生になったときの話です。アキラは野球部の伝統と称して下級生の尻をバットで叩きますが、その現場をヤスさんに見られてしまいます。「先輩にやられたから自分達もしくて損だ」と言うアキラをヤスさんは初めて殴りつけてしまします。そして、相手に一本締めして相手を追い返してしまうのです。その場面で泣きながら笑ったヤスさんに愛ある父の姿を感じました。頑固でぶつきらぼうな自分が生まれた優秀な息子、それゆえに一度も殴ったことのないヤスさんが初めて殴るというものが印象的でした。誰もがきっと親になつたときに悩まされることがあります。しかし、いざという時に息子を守るヤスさんの愛がすごく伝わる場面でした。簡単に子供を虐待することもある時代ですが、愛ある拳の愛がすごく伝わる場面でした。簡単に子供を虐待することもある時代ですが、愛ある拳の愛がすごく伝わる場面でした。ヤスさんのように不器用でも愛があれば人に対して伝わるのだと思え、理想の父親として、とても魅力を感じました。

読書の楽しみ



本の虫になる方法

福崎 正史 先生(社会)

「本は読んだほうが良い」

「本を読め」などとよく世間では言われるのであるが、あまり読んだことのない人にとっては「読書」はまさに苦痛以外の何者でもない。からつき読む気のない人には何を言つても無駄だとは思うが、少しでも本を読む習慣を身につけたいと思うときがあるのである。このことは実は、小学生が中学生のとき、ある数学の先生から教え

のだとあきらめなさい)それから一行でもいいから読んでみる、次の日も同じように

しろ、さらに次の日もやつてみる! そうするうちに文字見ないと眠れなくなつから」と。

(この程

度の努力も

できなければ、それは

本とは縁の

無い存在な

いとあきらめなさい)

それから

枕元に持つてい

き(この程

るが良いが

うが良いが

る前に必ず

文字の書い

てあるもの

(できれば

小説みたい

なものほ

うが良いが

活動を振り返って

3年4組 阿部 美乃里

小学生活のぼく(木山)と河辺は田舎のおばあちゃんの葬式に出た山下に「死んだ人、見たことあるか」といわれる

三人は死がなにか分からぬながらも気になって死の瞬間を見るためにある老人を観察

しはじめる。彼らは、いつしか観察をしていたおじいさん

私たちが初めて死に接するのはいつだろうか。飼つてい

る金魚などの生き物?いや、身近な存

在の死こそ初めて死を実感するときでは

ないだろうか。生きているだけでも、いつしか年代を超えた

友情を築いていく。しかし彼

らとおじいさんに別れのとき

が訪れる。

私は、三年間図書委員会に入つて活動してきました。ただ本が好きで入った図書委員会の委員長にまさか私がなるとは思つていませんでした。委員長になつた当初は何をどうすればいいのか分からず、迷惑をかけてばかりでしたが、まわりの同級生や先輩、後輩、先生方に助けられて今までやつてくることができました。百人一首では、試合を円滑に進めるために、ルールや審判を徹底的に身につけたことが昨日のように思い出されます。

試合当日には様々なトラブルが起こつたりもしましたが、百人一首が好きな一人として、心から楽しかったので良かったです。九里学園で一番のイベントである九里祭では、私が九里祭実行委員長を務めていたために、図書委員長としての務めが出来なくて悩んでいたのですが、副委員長をはじめ役員、そして所属する委員たちが団結してよりよい展示物が出来たことに私はとても嬉しく思っています。そして、委員の皆に感謝しています。これから図書委員会を支える後輩の皆にはぜひ頑張ってほしいです。

夏の庭
湯本香樹実著
The Friends



編集後記

今回初めて編集をしました。きちんとできるか不安でしたが、最後まで完成させることができました。原稿を書いてくださった皆様ありがとうございました。より良い内容にすることができました。ぜひご覧ください。

(2年4組 山田悠梨子)

と交流し始める。包丁の使い方などの生活に役立てられること、そして戦争の悲惨さを学び、いつしか年代を超えた友情を築いていく。しかし彼らとおじいさんに別れのときが訪れる。

生きていれば避けられ、また世代を超えて受け継がれていくものの大きさを教えてくれる一冊である。

死について考えさせられ、またこそ人と関わり、つながりたいと願うのかもしれない。死について考えさせられるが絶えずある。しかし、だからこそ人と関わり、つながりたいと願うのかもしれない。死について考えさせられ、また世代を超えて受け継がれていくものの大きさを教えてくれる一冊である。

死について考えさせられ、また世代を超えて受け継がれていくものの大きさを教えてくれる一冊である。

死について考えさせられ、また世代を超えて受け継がれていくものの大きさを教えてくれる一冊である。

死について考えさせられ、また世代を超えて受け継がれていくものの大きさを教えてくれる一冊である。

死について考えさせられ、また世代を超えて受け継がれていくものの大きさを教えてくれる一冊である。

死について考えさせられ、また世代を超えて受け継がれていくものの大きさを教えてくれる一冊である。